

晴

「晴」～はれ～

空が青く澄み渡り、とても明るく、爽やかで清々しいイメージがあります。さらに、晴れた日の太陽からは温かみやエネルギーを感じます。澄んだ青空みたいな綺麗な心を持って、ポジティブで前向きに生きてほしいという願いをこめました。

京都府立東宇治高等学校
第1学年 学年通信 第7号
令和7年12月19日（金） 発行



偶成 朱熹
少年老易く 學成り難し
一寸の光陰 輕んずべからず
未だ覺めず 池塘春草の夢
階前の梧葉 已に秋聲

階 前 梧 葉 已 秋 聲	未 覺 池 塘 春 草 夢	一 寸 光 陰 不 可 輕	少 年 易 老 學 難 成	偶 成 朱 熹
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--

【現代語訳】

青年はあっという間に歳を取り 学問は完成させることが難しい
ごくわずかな時間でも 決して無駄にはしてはいけない
池の堤に萌える春の若草が夢心地からまだ覚めないうちに
堂に上がる階段の前の青桐の葉にそよぐ風は すでに秋の風情を帯びている

作者の朱熹は12世紀の宋代を生きた秀才で、朱子学を大成させたことで有名な人です（作者に関しては別の説もあります）。そのような人が「學難成」と嘆いているわけですから、我々のような凡人（皆さんと一緒にしてごめんなさい）が学問を極めることはとても難しいと言わざるを得ませんよね。

ということで、2025年もあっという間に暮れようとしているわけですが、皆さんはこの一年をどのように過ごしましたか？ 青年にとって人生は無限に続くように感じられるものですが決してそのようなことはなく、私たちはあっという間に歳を重ねてしまいます（経験者＝教員が言うのだから間違いありません）。前号の学年通信に「明日やろうは馬鹿野郎？」という名言が掲

載されていましたが、高校時代の学習やクラブ活動、読書、友達づくりなどは、まさに「今しかできないこと」。これをやらずに歳をとってしまっ
ては本当にもったいない！

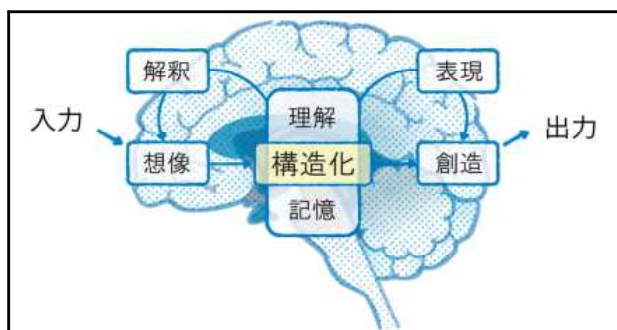
来る2026年をどう過ごすべきか、この冬休みの間にぜひ考えてみてく
ださい。

脳科学者による 読書のススメ

脳科学者の酒井邦嘉先生によれば、脳には「想像して補う」という力が備わっており、「情報量が少ないと自分の言葉で考える」という働きがあるそうです。活字のみをたどる読書はドラマ

や映画に比べると圧倒的に情報が限られていますから、豊かな想像力を育む有効な手段だと言えます。

また、脳に入力された情報は、理解に基づき、解釈を加えて「構造化」され、記憶に残っていくそうです。人間の言語能力を向上させるには「構造化」の力を鍛えることが必須。読書はその有効な手段だとも言えます。



言語能力は豊かなコミュニケーションをとるための必須アイテム。この年末年始、本をいっぱい読んで言語能力を高め、自らのコミュニケーション能力を向上させてみませんか？ もっとも**本は「楽しいから読む」のが一番**なんですけどね。

【参照URL】<https://www.fujingaho.jp/culture/book-novel-literature/a65906203/dokushono-susume-250915/>

<今後の予定>

12/22(月)～25(木) 冬期講習

12/28(日)～1/4(日) 学校休止日 ※入校不可

1/8(木) 始業式・課題テスト

1/20(火)～26日(月) 芸術科主催「ひろがる心展」開催

1/30(金) 第3学期中間考査 ※科目数の関係でこの日のみ

2/2(月) 1・2年生ベネッセ総合学力テスト ※授業時間内に実施

2/4(水) PTA授業参観日・進路講演会開催

2/13(金) 午前のみ授業 ※前期選抜準備のため

2/16(月) 前期選抜 ※自宅待機日

2/17(火) 午後のみ授業 ※午前は選抜業務のため授業なし

2/24(火) 午前中のみ授業 ※午後は前期選抜合格発表のため授業なし

2/27(金) 卒業式

